

食品産業生産性向上フォーラムin福岡 開催結果報告

2018年12月5日（水）13時より、福岡県中小企業振興センター301会議室にて、「食品産業生産性向上フォーラムin福岡」を開催した。参加者総数は約88名、うち食品関係者は39名であった。他、ロボット機械その他22名、コンサル関係4名、政府・公共機関6名、出展者約17名。フォーラムの内容は下記のとおり。

1. 趣旨説明（食料産業局食品製造課 課長補佐 佐藤 真次氏）

食品製造業は我が国を支える主要な産業である。しかし、労働生産性は製造業の中でも低いレベルである。今後の食品産業においては労働生産性向上が重要である。労働生産性とは、生産される付加価値＝アウトプットを、就業者・労働者数＝インプットで割ったものであり、アウトプットを増やすためには、需要を引き出す価値の創造や海外進出などがあり、一方でインプットを減らすためには、IoTを活用し省人化と業務改善、人材育成等の取り組みが大切である。また、生産現場の効率化で人手不足を補わなければ、生産が追いつかない事態にもなりかねない。課題は企業・現場によって異なるので、交流会でより良いパートナーを見つけていただき、日々命を繋ぐ大切な産業の生産性向上に取り組んでいただきたい。



フォーラム風景

2. 基調講演（食品生産性向上フォーラム企画検討委員長 弘中 泰雅氏）

生産性とは、顧客にとって有益な商品を作り付加価値を出すことである。投入した労働力が効率よく生産に使われていることが重要。しかしながら、生産性を数字できちんと捉えられている工場や経営者は非常に少ない。工場の生産性は会社の売上ではなく、工場の出荷金額を見るのが正しい。工場出荷額から原材料を引いたものが工場が生み出した付加価値となる。それを一人当たりで割ったものが価値となる。工場全体だけではなく、部門ごと、ラインごとに見ることで課題対策がわかりやすくなる。食品製造業は多品種少量生産だが、効率的なスケジュールで運用しようと考えている食品製造業の人が少ない。生産性を2倍にしたいければマネジメント思考に転換することや、従業員の意識改革等に取り組まなければならない。

3. 基調講演（i Smart Technologies 黒川 龍二氏）

「1時間で始めるスマートファクトリー化」がテーマ。旭鉄鋼株式会社内で生産性を上げるためのツールとしてIoTを導入した結果、改善効果が大きく、このツールを他企業にも導入したいと i Smart Technologiesを設立。中小企業の生産性向上に役立てることを目的とし、その第一歩として生産性見える化を目指す。80ラインに導入実績があり、平均34%の改善効果を出している。また、設備投資の抑制に加え、労務費や残業代を押さえることで年間1億円以上の節約ができた。コンサルティングも実施しており、まずは1ヶ月導入トライアルができる。データで数字を出すことで生産性改善のポテンシャルを出すことも可能である。秋葉原でも購入できる安価なツールでIoT導入が可能となる。

4. 基調講演（一般社団法人 日本ロボット工業会 高本 治明氏）

「食品産業における機械化・ロボット化の現状とポイント」講演。以前は使い難かったが、近年では食品製造業界でもロボットへの注目が高まっている。センシング技術とAI技術が進歩したことが大きく、画像処理が使い易くなった。協働ロボットが誕生したことも大きい。ロボット導入のポイントは、工場全体の生産性向上が必要であり、1箇所だけのロボット導入では全体の課題は改善されない事を注意する。工場全体の工程の状況を把握した上で、ロボットをその改善のツールとして活用すべきである。導入事例のハンドブック等を参考にしてほしい。また、システム構築では経営層がシステムインテグレータ会社ときちんと話し、現場任せにしないことが重要と考える。

5. 先進事例紹介（株式会社フランソア 黒河 朋文氏）

パンの成形工程、蒸しパンラインのミキシング～包装工程におけるカイゼンの実例を紹介。いずれもちょっとした考え方の変更と設備投資で生産性を20%前後向上させることができた。

6. 先進事例紹介（株式会社オフィスエフエイコム General Manager 青木 伸輔氏）

コスト、スピード、スペースが合わないために、ロボット導入が出来ていない事例が多い。そのため、当社ではそれを解決する装置化についてアドバイスをする。ロボットや自動化装置の導入に際しては、減価償却7年を取っても2000万円程度する。副次的な効果も含めた導入検討が必要である。

7. 農林水産省よりお知らせ（食料産業局食品製造課 課長補佐 佐藤 真次氏）

農林水産省の取組である、①食品産業イノベーション推進事業、②食品産業の働き方改革早わかりハンドブック（ハンドブック）、③食品産業戦略について紹介。

8. 経済産業省よりお知らせ（九州経済産業局 地域経済部 情報政策課 課長補佐 高田 浩明氏）

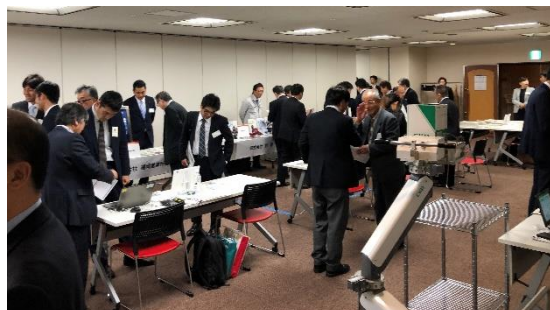
経済産業省の取組である、①九州IoTコミュニティ、②ものづくり・商業・サービス経営力向上支援事業、③サービス等生産性向上IT導入支援事業、④コネクテッド・インダストリーズ税制について紹介。

9. 生産性向上支援事業者によるプレゼンテーション

会場を移動し、支援事業者10団体によるプレゼンテーション実施。

10. 交流会

プレゼン企業に加え、講演者を交え、60名ほどの人数が隣接の展示交流会場で交流会を行い活発な意見交換がなされた。



交流会の様子